

2017年度

公益財団法人日本バレーボール協会

全国指導普及委員長・加盟連盟指導普及委員長 会議・研修会

目次

研修会要項・日程表	1
JVA運営基本方針・指導普及委員会運営方針	3
2018年度事業計画	6
2017年度事業報告	67
2017年度講習会修了者等名簿	97
講義資料	100
資料	128

2018年度

JVA 運営基本方針

公益財団法人 日本バレーボール協会
第9期・2018年度事業計画
(2018年4月1日～2019年3月31日)

日本バレーボール協会（JVA）は、わが国におけるバレーボール界を統轄し代表する団体として、グローバル化、情報化、少子高齢化、格差拡大などの急激な環境変化の中、バレーボール競技の普及、振興および発展を図り、児童・青少年から高齢者に至るまで、国民の心身の健全な発達、維持および人間性の向上に寄与し豊かな社会の形成に貢献することを目指す。

<基本方針>

■公益財団法人としての透明性の確保

ガバナンスの確立、コンプライアンス強化をはじめとする組織の厳格な運営、適切な情報開示

■JVA運営における目的と手段の明確化

JVAが解決しなければならない課題や目標を明確にし、それを達成するための具体的な手段を確立する。

■JVAと加盟団体とのコミュニケーションの促進

加盟団体との連携強化、JVA・加盟団体が果たすべき役割の明確化、情報の共有

■「2050年構想」と「中期計画」

- ・「2050年構想」… 2050年構想を「バレーボール界の将来のあるべき姿」と位置付け、引き続き実現を目指す。
- ・「中期計画」…… 2050年構想を実現するための5年毎のステップと位置付け、中期計画を策定・実行する。
但し、既存の2016～2020年度中期計画については、必要に応じて見直しと修正を加える。

<基本方針を推進するための施策>

■「強化」

- ・2020東京オリンピックに向けた年次毎の強化計画の策定と確実な実行
特に20歳前後の若手の特別強化に力を入れる。
- ・ビーチバレーボール事業の特別強化、普及のための実行計画の策定
2020東京オリンピックまでの年次毎の実行計画を策定し確実に実行する。
(特に加盟団体との連携・協力体制を明確化する)

■「普及」

- ・競技者人口の拡大
- ・指導者の育成（指導者数の増と指導者の資質向上）
- ・体罰・暴力、ハラスメントの撲滅
- ・加盟団体との連携強化、加盟団体との役割分担の明確化、課題集約

■「連携」

- ・加盟団体とのコミュニケーションの促進とJVAの安定経営のための施策の検討
- ・評議員会と理事会のあり方の検討
- ・JVAと日本バレーボールリーグ機構は、バレーボールに関わる全ての分野において垣根を作ることなく「連携」し、「強化」と「普及」の推進に邁進する。

■「攻め」

「強化」「普及」「連携」の3つのキーワードに加え「攻め」への姿勢転換を図る。

- ・ JVAの各種事業に関する積極的な広報・告知によるプレーヤー、観戦者、スポンサーの増加
- ・ 自己財源の確保ができるJVAへの体質転換による2020東京オリンピックに向けた活動エネルギーの蓄積

2018年度
事業計画

指導者養成委員会・競技者拡大委員会・生涯スポーツ普及委員会関連事業一覧

(2018年2月現在の予定)

委員会	事業名	実施日程	開催地	担当者
1 指導者養成委員会	都道府県・加盟団体指導普及委員長会議	2月23日(土)~2月24日(日)	大阪府	橋爪
2 指導者養成委員会	指導普及委員会・部会	年間事業	東京都	亀ヶ谷・橋爪
3 指導者養成委員会	日体協公認指導者講習会(コーチ)	8月4日(土)~8月8日(水)	明治学院大学	蓮・三井
4 指導者養成委員会	日体協公認指導者講習会(上級コーチ)	8月4日(土)~8月6日(月)	明治学院大学	蓮・三井
5 指導者養成委員会	日体協公認指導者講習会(指導員)	年間事業	全国各地	都道府県
6 指導者養成委員会	日体協公認指導者講習会(上級指導員)	年間事業	全国各地	都道府県
7 指導者養成委員会	日体協指導員・上級指導員講習会支援事業	年間事業	-	神山
8 指導者養成委員会	公認講師認定講習会	12月8日(土)~12月9日(日)	東京都	橋爪
9 指導者養成委員会	大学生対象指導員養成講習会(東会場)	8月4日(土)~8月7日(火)	明治学院大学	積山・五十嵐
10 指導者養成委員会	大学生対象指導員養成講習会(西会場)	8月12日(日)~8月15日(水)	大阪府立大高専	積山・土岡
11 指導者養成委員会	クラブ連盟対象指導員養成講習会・資質向上研修会	8月~9月	福島市国体記念体育館	大橋
12 指導者養成委員会	公認指導者研修会(大阪)	8月25日(土)~8月26日(日)	大阪府	小倉・中達
13 指導者養成委員会	公認指導者研修会(東京)	3月16日(土)	東京都	小倉・橋爪
14 指導者養成委員会	都道府県別指導者研修会	4月~2月	全国20会場	橋爪・姫野
15 指導者養成委員会	全国中学生バレーボール指導者研修会	8月~2月	9ブロック	緒方・神山
16 指導者養成委員会	日本実業団バレーボール連盟全国指導者研修会	11月	千葉県	村上
17 指導者養成委員会	ビーチバレーボール指導者研修会	3月31日に決定	全国2会場	石川
18 指導者養成委員会	ヤングクラブバレーボール連盟関連事業	9月21日(金)~9月23日(日)	門真スポーツセンター	橋爪・土岡
19 指導者養成委員会	全国小学生指導者第一次講習会	6月~9月	山口・山形・兵庫・東京	工藤
20 指導者養成委員会	全国小学生指導者第二次講習会	9月~11月	和歌山・岩手・香川・群馬・三重	工藤
21 指導者養成委員会	全国小学生指導者第三次講習会	9月~1月	北海道・福島・京都	工藤
22 指導者養成委員会	日体協資格再登録・再認定事業	年間事業	-	積山・橋爪
23 指導者養成委員会	STINGO配信事業	年間事業	-	橋爪・土岡
24 指導者養成委員会	免除適応コース承認作業	年間事業	-	蓮
25 指導者養成委員会	指導教本作成・技術統一化	年間事業	東京都	緒方
26 指導者養成委員会	FIVB情報集約・関連事業	年間事業	-	小倉
27 指導者養成委員会	連絡用HP作成事業	年間事業	-	姫野・橋爪
28 指導者養成委員会	講習会・研修会講師派遣事業	年間事業	-	根本・藤井
29 指導者養成委員会	JVAMRS登録承認・促進作業	年間事業	-	JVA
1 競技者拡大委員会	Vリーグ選手と一緒にバレーボール教室	6月~9月	全国10会場	大内
2 競技者拡大委員会	アシックス・ミスノゴールドプランバレーボール教室	調整中	調整中	JVA
3 競技者拡大委員会	全国小中一貫バレーボール教室	6月~1月	全国3~5会場	工藤
4 競技者拡大委員会	幼稚園・保育園ソフトバレー支援事業	4月~2月	9ブロック	大井
5 競技者拡大委員会	アンダー10大会促進事業	5月~2月	全国17会場	工藤
6 競技者拡大委員会	中学校ピギナー大会推進事業	5月31日に決定	全国10会場	工藤
1 生涯スポーツ普及委員会	ソフトバレーシルバースフェスティバル	9月22日(土)~9月24日(月)	アオーレ長岡	岩本
2 生涯スポーツ普及委員会	ソフトバレースポレクフェスティバル	11月30日(金)~12月2日(日)	サオリーナ	岩本
3 生涯スポーツ普及委員会	ソフトバレーフリーフェスティバル	2月16日(土)~2月17日(日)	町田市立総合体育館	岩本
4 生涯スポーツ普及委員会	ソフトバレーレディースフェスティバル	10月26日(金)~10月28日(日)	草津市立総合体育館	岩本
5 生涯スポーツ普及委員会	ソフトバレーブロックフェスティバル(総合)	5月31日に決定	9ブロック	川上
6 生涯スポーツ普及委員会	ソフトバレーブロックフェスティバル(ファミリー・キッズ)	5月31日に決定	2ブロック	川上
7 生涯スポーツ普及委員会	ソフトバレーボール・リーダー養成講習会	6月1日(金)~1月31日(木)	全国15会場	増田
8 生涯スポーツ普及委員会	ソフトバレーボール・マスターリーダー養成講習会・研修会	6月30日(土)~7月1日(日)	ニューウェルサンピア沼津	吉井

2018年度 日本クラブバレーボール連盟対象 公益財団法人 日本体育協会 公認 バレーボール指導員 (専門科目)資格取得養成講習会 開催要項

1. 目的 日本クラブバレーボール連盟所属の関係者を対象として、バレーボールの実践を通して、体力・技術・精神力・マナー等を養ってきた選手を、将来の日本バレーボール界の公認指導者として育成するとともに、日本クラブバレーボール連盟の競技レベル向上、発展を図ることを目的とする。
2. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会 日本クラブバレーボール連盟
3. 主管 日本クラブバレーボール連盟 指導普及委員会 福島県クラブバレーボール連盟
4. 後援 東北クラブバレーボール連盟 福島県バレーボール協会
5. 協賛 株式会社デサントジャパン
6. 使用球 モルテン製カラーボール(V5M5000)・ミカサ製カラーボール(MVA300)を使用する。
モルテン製ソフトバレーボール(SVW)・ミカサ製ソフトバレーボール(MS-F78)を使用する。
7. 期日 (第1週目)2018年8月18日(土)～19日(日) 8月18日(土) 9:45～ 開講式
(第2週目)2018年9月22日(土)～23日(日) 9月22日(日) 17:00～ 閉講式
8. 会場 (第1週目、第2週目) 福島市国体記念体育館 (JR福島駅西口より車で約10分) 研修室 / サブアリーナ
【住所】〒960-8166 福島県福島市仁井田字西下川原41-1
(電話番号) 024-539-5500 (FAX番号) 024-539-5501
9. 受講資格 ①原則として、公益財団法人日本バレーボール協会が定めるチーム加盟及び個人登録規定により、平成30年度に日本クラブバレーボール連盟に登録する構成員で、将来バレーボールの指導者を希望する者。ただし、今年度はクラブ連盟以外の受講者も認める。
②2018年4月1日現在で満年齢18歳以上の者。
③全日程について受講することができる者。
10. 受講料 6,000円(受講決定後、指定口座へ納入すること。一度納入された受講料は返金することはできません)ただし、日本クラブバレーボール連盟関係者以外は、10,000円とする。
11. 宿舎 主催者はホテル宿泊の斡旋を行いませんので各自での手配となります。
宿泊予定の方は主催者からの緊急連絡などを行う場合がありますので、確認のため指導員受講申込用紙にホテル名を記載ください。
12. 申込連絡先 〒573-0036 大阪府枚方市伊加賀北町7-80-705 指導員講習会担当 澁谷 敦弘 宛
FAX番号 050-7100-3410(受信専用) 携帯電話番号 090-3827-6576
e-mailアドレス shibuya_atsumihiro@yahoo.co.jp
13. 振込先 株式会社 ゆうちょ銀行 記号:14150 番号:84296731 澁谷 敦弘(シブヤツヒロ)
(他金融機関からの振込の場合/【店名】四一八【店番】418【預金種目】普通【口座番号】8429673)
※振込人のところには必ず振込人氏名を記入してください。銀行振込依頼書をもって領収書にかえさせていただきます。
14. 申込締切 2018年7月28日(土曜日)必着

15. 講 師 公益財団法人日本バレーボール協会 公認講師が担当する。

16. 受講内容

指導理論	①初心者指導法	2H	小計 10H
	②バレーボールの技術論(攻撃・守備)	2H	
	③6・9人制のルール	2H	
	④日本バレーボールの歴史	2H	
	⑤ビーチバレーボールの指導法と大会運営	2H	
実技実習	①バレーボールに必要な体カトレーニング	2H	小計 14H
	②基本のフォーメーション(6・9人制)	4H	
	③基本技術実習(攻撃)	3H	
	④基本技術実習(守備)	3H	
	⑤救急法実習	2H	
指導実習	①ウォーミングアップとクーリングダウン実習	1H	小計 6H
	②基本技術(攻撃・守備)の指導実習	3H	
	③練習計画の立案	2H	
		合計	30H

※公益財団法人日本バレーボール協会公認審判員資格保有者は、6・9人制ルール(指導論)が免除(2時間)されます。

※全国小学生バレーボール指導者研修会(一次、二次)受講終了者はカリキュラムの一部が規定により免除されます。申込の際は修了証のコピーを添付して下さい。

また受講時に受付で修了証原本を確認致します。

17. 持ち物

筆記用具、体育館用シューズ(上履き)、運動着、ホイッスル、6・9人制ルールブック、バレーボール指導教本(開講初日に受付で販売)、宿泊等の用意

【コーチングバレーボール(基礎編) 大修館書店 2,300円 / ISBN 9784469268119】

書籍情報web → <http://www.taishukan.co.jp/book/b279501.html>

※注意：一度購入希望された方につきましては、キャンセルすることはできません。

6・9人制ルールブックの販売はいたしませんので事前に準備ください。

18. その他

①本講習会修了者には、公益財団法人 日本バレーボール協会より修了証を与える。

②公益財団法人 日本体育協会公認 バレーボール指導員資格取得する者は、都道府県体育協会が開催する共通科目(35単位)を通信講座(NHK学園 19,800円)で受講すること。

③参加が受理された後、やむを得ず欠席、キャンセルになった場合は、事前に講習会担当に申し出ること。 ※講習会担当(渋谷/電話:090-3827-6576/FAX:050-7100-3410/メール:shibuya_atsumihiro@yahoo.co.jp)

④本講習会の受講は、先着70名とする。(各都道府県のクラブ連盟所属者を優先します)

⑤健康診断を必ず受けること。なお、受講者の健康管理については、個人の責任としてこれを受け止め、十分管理すること。

⑥参加者の怪我については、応急処置・救急車の要請はするが、最低限の傷害保険以外、一切責任を負うことができない。

⑦講習期間中の自然災害、火災、停電、病気(食中毒、インフルエンザ、感染症など)、負傷等の生命の危機にも関わる予期せぬ事態の発生に際し、適切な対処に努めて参ります。

2018年度 都道府県別バレーボール指導者研修会開催要項

- 1 目的 各都道府県における、バレーボール指導者の資質の向上と、クラブや部活動における諸問題の解決を図るための研修をおこなうとともに、これから、地域において新たに指導者を目指す者の育成と、各都道府県のバレーボールの普及・振興を目的として開催する。
- また、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者(バレーボール)の更新に必要な研修として位置づけ、有資格者が居住または近隣都道府県で当該研修を受講できる機会を与えることを目的とする。
- 2 主催 公益財団法人日本バレーボール協会
- 3 主管 公益財団法人日本バレーボール協会 指導者養成委員会
開催都道府県バレーボール協会
- 4 後援 開催都道府県・市町村教育委員会 等
- 5 開催期間 2018年4月～2019年2月
- 6 会場 20都道府県を予定
- 7 参加対象 (1) 都道府県の指導普及担当者
(2) 都道府県の指導者
(3) 将来、各都道府県でバレーボールを指導しようとする者
(4) 公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者
(5) 技能や練習方法を学習したいとする選手
- 8 カリキュラム 6時間以上のカリキュラムを計画すること。
講師は、公益財団法人日本バレーボール協会公認講師を中心に計画すること。
- 9 手続き (1) 本事業終了後、開催の意志を担当者に連絡する。
(web入力を通じて調査を行う)
(2) 開催計画書・開催要項等、必要書類を6月30日までに送付すること。
(3) 実施報告書・決算書・参加者名簿を事業終了後1ヵ月以内に提出すること。
(4) 原則として、開催都道府県に最大10万円補助する。(事業後に交付)
(5) 交付金の使用に関する証拠書類を送付すること。
(6) (協力をお願い)各団体での納税にご協力ください。
(7) 2018年度も株式会社明治様から講師を派遣いただける予定です。
- 10 申し込み 送付先 〒572-8572
寝屋川市幸町26-12
大阪府立大学工業高等専門学校
橋爪 裕
volleyball@email.plala.or.jp
080-2001-1574
- 11 その他 (1) 申し込み・報告、手続きに関する書類は、指導普及委員会HPに掲載する。
<http://www9.plala.or.jp/volleyball/> (要パスワード)
(2) 提出ファイルは最新のものを使用すること。
(3) (3)のファイル受付後、1ヶ月程度で義務研修修了者として公益財団法人日本体育協会に報告するので、マイページで確認すること。
(4) 2013年1月1日から源泉徴収額が変更されたので注意すること。
(協力をお願い)
(5) 受講時にJVAMRS登録の確認をお願いいたします。
(6) 本事業は、将来の公認講師候補者の講師経験の場としても重要な役割を持っております。有意義にご活用くださいますよう、お願い申し上げます。

平成 30 年 2 月

都道府県バレーボール協会 指導普及委員長 各位
加盟連盟 指導普及委員長 各位

公益財団法人 日本バレーボール協会
M&M 事業本部

都道府県指導者研修会での株式会社明治による栄養講習会の実施について（お願い）

平素よりバレーボール発展のためにご尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

2018 年度の都道府県別指導者研修会におきましても、2015 年より継続実施しております「株式会社明治」の管理栄養士による栄養講習会を、引き続きプログラムとして取り入れていただきたく、下記の通りご案内申し上げます。

「株式会社明治」は、長きにわたり公益財団法人日本バレーボール協会にご協賛いただき、同時に全日本男女バレーボールチームの栄養指導にもご協力いただいております。都道府県指導者研修会におきまして、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

内容 : 『バレーボール選手に必要な食事と栄養（仮）』
講師 : 株式会社明治 管理栄養士（要調整）
実施時間 : 60 分／予定（質疑応答も含まれます）
方法 : スライドもしくは配布資料を用いた座学

都道府県別指導者研修会を開催される都道府県につきましては、原則的に、全研修会に株式会社明治の管理栄養士が講師としてお伺いさせていただきますので、開催日程・会場確保ほか、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

以上

【本件に関するお問合せ先】
公益財団法人日本バレーボール協会
M&M 事業本部（担当：鈴木）
TEL：03-5786-2100
k-suzuki@jva.or.jp

※開催計画書にもとづき、担当者よりご連絡をさせていただきます。

2018 年度ゴールドプラン全国中学生バレーボール指導者研修会

1. 目的 中学生のバレーボール活動の現状を把握し、これからの方向性を検討するとともに、指導者の資質の向上と、現在の諸問題の解決策を考える。
2. 主催 (公財) 日本バレーボール協会
(公財) 日本中学校体育連盟バレーボール競技部
3. 主管 (公財) 日本バレーボール協会指導普及委員会
開催都道府県バレーボール協会・連盟
開催都道府県中学校体育連盟バレーボール競技部
4. 後援 開催都道府県・市町村教育委員会
5. オフィシャルボール (株) モルテン (株) ミカサ
6. 開催期日 2018 年度 8 月～2019 年 2 月
7. 会場 9ブロック
8. 参加資格 ① 現在、中学校バレーボール部を指導している者
② 将来、中学生にバレーボールを指導しようとする者
③ 各都道府県中学校体育連盟バレーボール専門部指導普及担当者
9. 研修内容 ① 中学校運動部活動の現状とこれからの課題について
② 中学生指導関係者の資質向上について
③ 中学校部活動と地域における活動のこれからの関わり方について
④ 初心者指導、健康管理、具体的練習方法について
10. 研修会の講師 (公財) 日本バレーボール協会公認講師
(公財) 日本バレーボール協会指導者養成委員会
(公財) 日本中学校体育連盟バレーボール競技部役員・指導普及、強化委員
11. 研修会参加料 無 料
12. 参加申込方法及び締切日
所定の用紙に必要事項を記載し、締切日までに申し込みをする。
申し込み先・締め切り期日 (別途連絡)
13. その他 ① ^課全過程を修了した受講者には、修了書をお渡しします。
② この研修会は、(財) 日本体育協会公認スポーツ指導員の更新時の義務研修になっています。
③ 研修会講師は J V A より派遣します。

2018（平成30）年度ビーチバレーボール指導者研修会①②要項

（ビーチバレーボールクリニック同時開催）

主催：（公財）日本バレーボール協会・日本ビーチバレーボール連盟

主管：（公財）日本バレーボール協会指導普及委員会・日本ビーチバレーボール連盟指導普及委員会

後援：未定

1. 期日 ①2018年 月 日（ ）～ 日（ ）
②2018年 月 日（ ）～ 日（ ）
2. 日程 初日－13時受付開始、13時半開講式、開講式終了後～17時実技
2日目－9時～12時実技、閉講式、12時半解散（予定）
3. 会場 ①調整中
②調整中
4. 内容 「ビーチバレーボール実技」
指導者研修会－「指導者の心得」「ウォーミングアップ」「トスと繋ぎ」「攻撃」など技術全般。
クリニック－「ウォーミングアップ」「トスと繋ぎ」「攻撃」「ゲーム形式」など技術全般。
5. 対象者 指導者研修会－ビーチバレーボール指導者を目指す人（将来指導者を希望する学生も可）
クリニック－ビーチバレーボールを体験したい中学生や高校生など
（バレーボール未経験者も可能）
6. 受講料 無料
7. 講師 ①指導者研修会 未定
クリニック 未定
②指導者研修会 未定
クリニック 未定
8. 持ち物 天候に合った運動着・サングラス・キャップ・日焼け止め・筆記用具・水分
* 荒天の場合、体育館で行なうことがありますのでインドアシューズの準備もお願いします。
9. 宿泊 宿泊は、各自で申し込んでください。
* 初日の夜に懇親会を予定しております。よろしければ、ご参加ください。
10. 申込および問い合わせ先
①氏名 ②性別 ③年齢 ④所属（学校名） ⑤バレーボール暦 ⑥ビーチバレーボール暦
⑦住所 ⑧電話番号 ⑨メールアドレス ⑩要望やメッセージ ⑪懇親会<参加・不参加>
⑫参加希望会場 ※①～⑫を記入し、FAXまたはメールにて申込をお願いします。
日本ビーチバレーボール連盟指導普及委員会 石川雅道
TEL 080-4449-3723 FAX 045-853-8221 e-mail kkgv777@hotmail.com
11. 申し込み締切 ①調整中 ②調整中

第21回 全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会について

(大会開催の趣旨) 本大会は、学校部活動で十分能力を発揮することができない生徒・学生が中心となり、学校を超えて、地域で年間を通じてバレーボール活動を行い、その成果を発揮し、活躍できる大会として、また、地域で指導者資格を有する誰もが青少年の指導者等となり、「支えるスポーツ」としてバレーボールに親しみ、活躍することができる大会を目的として開催する。

1. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会 日本ヤングクラブバレーボール連盟
読売新聞社 報知新聞大阪本社
2. 主管 第21回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会実行委員会
大阪府バレーボール協会 大阪府ヤングクラブバレーボール連盟
3. 後援 (申請予定) スポーツ庁 大阪府 大阪市 大阪府教育委員会 大阪市教育委員会
公益財団法人大阪体育協会
4. オフィシャルボール 女子：(株)モルテン(V5M5000) 男子：(株)ミカサ(MVA300)
6. 開催期間 2018年 9月22日(土)・23日(日)
7. 会場 大阪府立門真スポーツセンター 大阪府立体育会館
8. 参加資格 大会開催の趣旨に基づいて編成され、年間を通じて、週単位で継続的に活動しているヤングバレーボールクラブで、次の各項に掲げる要件をすべて満たすクラブチーム。
 - (1) 原則として、募集要項等があり、当該クラブでの活動を希望する選手が所属可能なクラブチーム。学校の部活動単独チーム及び明らかに学校部活動単独チームに近いチームの参加、同一クラブの複数参加は不可とする。
 - (2) 日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録された地域クラブチーム。日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録された選手とチームスタッフによって構成されたチームで、責任のとれる成人を代表者とするチーム。ただし、年齢基準は、2018年4月2日現在とする。
※U14 (14歳以下)、U19 (19歳以下：主として15歳以上)
 - (3) コーチングスタッフ(監督・コーチ・マネージャー)のうち1名は、公益財団法人日本体育協会公認の指導者資格(コーチ・上級コーチ、指導員・上級指導員)を有し、公益財団法人日本バレーボール協会に有効に登録されたものとする。
監督及びコーチは有資格者であることが望ましい。
 - (4) 各都道府県ヤングクラブチーム統轄団体に推薦されたチーム。ただし、統轄団体が設立されていない都道府県については、各都道府県バレーボール協会長が推薦するチーム。
 - (5) 別に定める「大会参加申込みにあたってのお願い」に同意し、代表者が責任を持って大会運営に協力できるチーム。
「年間を通じて週単位で継続的に活動する」、「学校部活動で十分に能力を発揮することができない生徒・学生が中心」という本大会の趣旨を踏まえ、推薦チームを優先すること。
9. 問い合わせ 大阪府立大学工業高等専門学校 橋爪 裕
volleyball@email.plala.or.jp
080-2001-1574(携帯電話)
10. その他 大会に関する連絡や変更は、日本ヤングクラブバレーボール連盟21回大会ホームページで行う。(5月初旬に更新予定)
<http://www9.plala.or.jp/youngvolleyball/>

正式な開催要項は実行委員会(5月5日頃開催予定)で決定し、大会HPで発表する。

平成30年度全国小学生バレーボール指導者一次講習会開催要項（案）
（日本小学生バレーボール連盟認定初級指導者取得講習会）

1. 目的 小学生に正しく、楽しいバレーボールを指導するための指導方法について研修し、指導者の資質の向上を図る。
2. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会・日本小学生バレーボール連盟
3. 主管 公益財団法人日本バレーボール協会指導者養成委員会
日本小学生バレーボール連盟指導普及委員会
日本小学生バレーボール連盟JVA特命委員会
開催県バレーボール協会・開催県小学生バレーボール連盟
4. 後援 開催県・市区町村教育委員会、開催県・市区町村体育協会、報道機関
5. 開催期日 〇山口県 平成30年 6月30日（土）・7月1日（日）
及び開催地 〇山形県 平成30年 7月（詳細未定）
〇兵庫県 平成30年 8月18日（土）・19日（日）
〇東京都 平成30年 9月 8日（土）・ 9日（日）
6. 参加資格 ①小学生バレーボールの指導に関わっているもの
②地域においてジュニアバレーボールの指導に関わっているもの
（中学生指導者を含む）
③小学生バレーボールの指導を希望しているもの
7. 講習内容 ①小学生バレーボールの指導者の役割
②バレーボールのルールと審判法
③初心者導入法
④バレーボールの技術論（基本）
⑤基本技術（攻撃・守備）の指導実習
8. 講師 公益財団法人日本バレーボール協会公認講師
公益財団法人日本バレーボール協会役員
公益財団法人日本体育協会バレーボールコーチ・上級コーチ
日本小学生バレーボール連盟役員
9. 参加料 受講料として2,500円徴収する。

10. 参加申込み 開催地の要項に従って申し込みを行う。

11. その他
- ①全課程を修了したものには、指導者認定証（送料等は実費負担とする）を発行し、同時に日本小学生バレーボール連盟初級指導者として認定する。尚、この認定証を持っているものは、公益財団法人日本体育協会スポーツ指導員専門科目取得の際、10時間が受講済となる。
 - ②開催地には運営費を補助する。
 - ③講師派遣に関わる一切の経費は主催者が持つ。
 - ④講習受講にあたっては、30年度ルールブックの持参を周知すること。
 - ⑤指導者資格について
 - 1) 全日本バレーボール小学生大会のブロック・地区予選会においては、日本小学生バレーボール連盟初級指導者（※1）以上（同中級指導者（※2）・日体協資格も可）が最低一人はベンチに入っていないなければならない。
 - 2) 都道府県最終予選会においては、日本小学生バレーボール連盟認定中級指導者（※2）以上（日体協資格も可）が最低一人はベンチに入っていないなければならない。
 - 3) 全日本バレーボール小学生大会の全国大会においては、公益財団法人日本体育協会認定バレーボールの指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチのいずれかの資格取得者がベンチ入りしなければならない。
 - ※1 初級指導者（全国小学生バレーボール指導者一次講習会修了者）
 - ※2 中級指導者（全国小学生バレーボール指導者二次講習会修了者）
 - ⑥この講習会は、公益財団法人日本体育協会資格更新の義務研修に指定されているので、有資格者で希望するものは申し込みの際、資格種類、番号等を知らせること。

12. 開催申請

- 開催地は事前に開催計画書及び予算書を提出する。
- 開催地は、事業担当者より配布及び周知された「開催マニュアル」をもとに準備・運営を進める。
- 開催地は講習会終了後、すみやかに所定の提出物とともに報告書を提出する。
- 事業担当者
公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会・指導者養成委員会

オフィシャルボール 株式会社ミカサ 株式会社モルテン

※計画書等の様式は日本小学生バレーボール連盟ホームページに掲載

平成30年度全国小学生バレーボール指導者二次講習会開催要項（案）
（日本小学生バレーボール連盟認定中級指導者取得講習会）

1. 目的 小学生に正しく、より質の高い指導を行うための指導方法について研修し、指導力向上を図る事を目的とする。
2. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会 日本小学生バレーボール連盟
3. 主管 公益財団法人日本バレーボール協会指導者養成委員会
日本小学生バレーボール連盟指導普及委員会
日本小学生バレーボール連盟JVA特命委員会
開催県バレーボール協会・開催県小学生バレーボール連盟
4. 後援 開催県・市区町村教育委員会、開催県・市区町村体育協会、報道機関
5. 開催地 〇和歌山県 平成30年 9月29日（土）・30日（日）
及び開催地 〇岩手県 平成30年 9月（詳細未定）
〇香川県 平成30年10月13日（土）・14日（日）
〇群馬県 平成30年11月 3日（土）・ 4日（日）
〇三重県 未定
※各都道府県の日程は現段階の予定
6. 参加資格 日本小学生バレーボール連盟認定初級指導者（一次講習会修了者）
又は公益財団法人日本体育協会資格取得者
7. 講習内容 公益財団法人日本体育協会スポーツ指導員バレーボール専門科目の内容に準じて行う。
①日本バレーボールの歴史
②基本技術Ⅰ（攻撃論）/基本技術Ⅱ（守備論）
③6・9人制のルール
④正しい基本技術実習1（攻）
⑤正しい基本技術実習2（守）等
8. 講師 公益財団法人日本バレーボール協会公認講師
公益財団法人日本バレーボール協会役員
公益財団法人日本体育協会バレーボールコーチ・上級コーチ
日本小学生バレーボール連盟役員

9. 参加料 受講料として3,000円徴収する。

10. 参加申込み 開催地の要項に従って申し込みを行う。

11. その他

①全課程を修了したものには、所有している指導者認定証にシールを貼り、ストラップケースに入れて渡す。それらの費用は実費負担とする。また、全課程修了者には、同時に日本小学生バレーボール連盟中級指導者として認定する。尚、受講者は受講の際に、一次講習会で取得した指導者認定証を必ず持参すること。

②二次講習受講者は、公益財団法人日本体育協会資格取得の際、8時間が受講済となる。

③開催地には運営費を補助する。

④講師派遣に関わる一切の経費は主催者が持つ。

⑤講習受講にあたっては、30年度ルールブックの持参を周知すること。

⑥指導者資格について

1) 全日本バレーボール小学生大会のブロック・地区予選会においては、日本小学生バレーボール連盟初級指導者(※1)以上(同中級指導者(※2)・日体協資格も可)が最低一人はベンチに入っていないなければならない。

2) 都道府県最終予選会においては、日本小学生バレーボール連盟認定中級指導者(※2)以上(日体協資格も可)が最低一人はベンチに入っていないなければならない。

3) 全日本バレーボール小学生大会の全国大会においては、公益財団法人日本体育協会認定バレーボールの指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチのいずれかの資格取得者がベンチ入りしなければならない。

※1 初級指導者(全国小学生バレーボール指導者一次講習会修了者)

※2 中級指導者(全国小学生バレーボール指導者二次講習会修了者)

⑦この講習会は、公益財団法人日本体育協会資格更新の義務研修に指定されているので、有資格者で希望するものは申し込みの際、資格種類、番号等を知らせること。

12. 開催申請

○開催地は事前に開催計画書及び予算書を提出する。

○開催地は、事業担当者より配布及び周知された「開催マニュアル」をもとに準備・運営を進める。

○開催地は講習会終了後、すみやかに所定の提出物とともに報告書を提出する。

○事業担当者

公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会・指導者養成委員会

オフィシャルボール 株式会社ミカサ 株式会社モルテン

※計画書等の様式は日本小学生バレーボール連盟ホームページに掲載

平成30年度全国小学生バレーボール指導者三次講習会開催要項（案）
（日体協スポーツ指導員専門科目及び日本小学生バレーボール連盟認定上級指導者資格取得講習会）

1. 目的 地域におけるスポーツ（バレーボール）の普及・発展に寄与する指導者の育成を図る。
2. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会 日本小学生バレーボール連盟
3. 主管 公益財団法人日本バレーボール協会指導者養成委員会
日本小学生バレーボール連盟指導普及委員会
日本小学生バレーボール連盟JVA特命委員会
開催県バレーボール協会・開催県小学生バレーボール連盟
4. 後援 開催県・市区町村教育委員会、開催県・市区町村体育協会、報道機関
5. 開催地 ○北海道 9月22日（土）・23日（日）
○福島県 10月27日（土）・28日（日）
○京都府 1月26日（土）・27日（日）
6. 参加資格 日本小学生バレーボール連盟認定中級指導者（二次講習会修了者）
7. 講習内容 公益財団法人日本体育協会スポーツ指導員バレーボール専門科目の内容に準じて行う。
 - 6、9人制のルール
 - 救急法実習
 - バレーボールに必要な体カトレーニング
 - 基本フォーメーション（6・9人制）※一日目には筆記試験、二日目には実技試験を行う。合格者は公益財団法人日本体育協会スポーツ指導員（バレーボール）専門科目修了者となり、日本小学生バレーボール連盟上級指導者として認定する。尚、公益財団法人日本体育協会スポーツ指導員（バレーボール）専門科目修了者であることは、個人で地元の体育協会に報告し、以後の手続きを行うこと。
○本講習会は、公益財団法人日本バレーボール協会公認審判員（C級）資格取得講習会にもなっているので、取得を希望するものは、別途申し込みを行うこと。
8. 講師 公益財団法人日本バレーボール協会公認講師
公益財団法人日本バレーボール協会役員
公益財団法人日本体育協会バレーボール上級コーチ、コーチ
日本小学生バレーボール連盟役員

9. 参加料 受講料として4,000円徴収する。
但し、公認審判取得希望者は、更にワッペン代・グリーンカード代及び手続き料で2,200円が別途必要である。
10. 参加申込み 開催地の要項に従って申し込みを行う。但し、試験の都合上先着150名とする
11. その他
- ①日本小学生バレーボール連盟認定中級指導者(二次講習会修了者)であることを証明するため、必ずJVAシール貼付のストラップケースに入れた指導者認定証を持参の上、常に胸に下げておくこと。
 - ②筆記用具、運動できる服装、平成30年度ルールブック等の用意をすること。
 - ③開催地には運営費を補助する。
 - ④講師派遣に関わる一切の経費は主催者がもつ。
12. 開催申請
- 開催地は事前に開催計画書及び予算書を提出する。
 - 開催地は、事業担当者より配布及び周知された「開催マニュアル」をもとに準備・運営を進める。
 - 開催地は講習会終了後、すみやかに所定の提出物とともに報告書を提出する。
 - 事業担当者
公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会・指導者養成委員会

オフィシャルボール 株式会社ミカサ 株式会社モルテン

公益財団法人日本体育協会（指導員・上級指導員・コーチ・上級コーチ）資格
再登録事業

担当：積山・橋爪

2017年度も多くの方が「資格保留」・「資格停止」となっております。
継続して資格を保有したいと考えている指導者がこのような状態になりませんよう、
皆様のご協力をお願い申し上げます。

公益財団法人 日本体育協会 公認スポーツ指導者登録規程(抜粋)

第4条 登録の有効期限は4年間とし、4年ごとに更新する。

2. 前項の更新にあたっては、資格有効期限が切れる6か月前までに本会又は当該中央競技団体の定める研修を受けなければならない。
3. 有効期限内に、更新を行わない場合には、公認スポーツ指導者資格を失う。ただし、本会が特に認めた場合は、期間を過ぎても登録することができる。

公益財団法人 日本体育協会 公認スポーツ指導者登録規程 細則(抜粋)

第8条（資格の保留・停止）

本細則第4条*に定められた期間内に登録手続きを行わなかった場合、「資格保留」となる。

2. 資格保留期間は有効期限後1年間とし、この間に更新要件を満たした場合、再度登録手続きを行うことができる**。
3. 保留後1年間経過した場合、「資格停止」となり、指導者資格は失効し登録手続きを行うことはできない。

※第4条（手続き期間と認定日）

資格登録に係る手続きは、登録認定日以前に完了していなければならない。

2. 登録認定日は、原則として、毎年10月1日付もしくは4月1日付とする。
3. ただし、一部資格については、手続きの都合上、10月1日付のみとする。

**資格保留後6ヶ月以内の義務研修受講が条件です。以降は「資格停止」となります。

第9条（資格の再登録）

「資格停止」となった者が再度資格登録を希望する場合、別途定める基準を満たす時には当該資格の再登録申請を行うことができる。

2018年度から、原則として資格保留から2期（8年）を超えるものに対して、公益財団法人日本バレーボール協会指導者養成委員会として、再登録の作業を行わない。

再登録申請手続きについて（都道府県指導普及委員長用）

日本バレーボール協会では、日本体育協会に年間2回、再登録の申請をいたします。

前期：4月30日まで

後期：10月31日まで

これらの日程を超えた場合、「資格停止」期間が半年延びることになります。

①申請者→都道府県指導普及委員長(相談)

②都道府県指導普及委員長→申請者(必要書類の送付) 2016年度から印が必要です。

公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者資格再登録申請書兼申請要件調査書
を送付（JVA 指導者養成委員会 HP に PC 用・手書き用を掲載：EXCEL）

* 6. 申請区分について 未手続による再登録→まだ1度も登録していない方
有効期限切れによる再登録→登録したが資格停止となった方

(申請書の作成・送付)

③申請者→都道府県指導普及委員長→JVA 事務局（指導者養成委員会担当で審査）

(再登録経費振り込み・振込通知書を FAX)

④申請者→JVA 口座に審査料 3000 円（現在）を振り込む。

口座情報：みずほ銀行 渋谷中央支店

普通 4602974

公益財団法人日本バレーボール協会

(コウキザイダニホウジンコホバレーボールキョウカイ) *2015年度から変更

⑤申請者 振込通知書を FAX→JVA 事務局

(JVA 指導者養成委員会 HP に掲載：pdf)

⑥JVA 事務局での振り込み確認後 JVA 事務局→日本体育協会に再登録申請

(審査)

⑦審査結果の通知（再登録の可否）日本体育協会→ JVA 事務局

JVA 事務局→都道府県指導普及委員長

日本体育協会→申請者（再登録可の方）に手続き案内及び書類

⑧申請者（再登録可の方）→日本体育協会指示に沿って、速やかに手続きを完了する。

申請者（再登録不可の方）→別途、指導者養成委員会担当で審議の上、対応を決定する。

公益財団法人日本体育協会指導員・上級指導員資格（専門科目）再認定事業
（公益財団法人日本体育協会指導員・上級指導員資格（専門科目）有効期限切れについて）

担当：積山・橋爪

公益財団法人日本体育協会指導員・上級指導員資格（専門科目）の有効期限は、受講年度を含め、4年間とする。

※2018年度に専門科目を修了した者は、2018年度・2019年度・2020年度・2021年度の中で、共通科目を履修・修了し、当該の有資格者として公益財団法人日本体育協会に登録しなければならない。

諸事情により、この専門科目の有効期限を越えた場合、公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会の審査により、この有効期限の延長を認めることがある。

ただし、2018年度から原則として修了年度を含め、8年を超えたものについて、再認定は行わない。

（手順）

①申請者→都道府県指導普及委員長・JVA関係者(相談)

②都道府県指導普及委員長・JVA関係者→申請者(必要書類の送付)

公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導者資格再認定申請書兼申請要件調査書を送付（JVA指導者養成委員会HPにPC用・手書き用を掲載：EXCEL）

（申請書の作成・送付・振り込み手続き）

③申請者→都道府県指導普及委員長→JVA事務局

④申請者→JVA口座に審査料3000円（現在）を振り込む。

口座情報：みずほ銀行 渋谷中央支店 普通 4602974

公益財団法人日本バレーボール協会（コエガ イノホジ ノホバレーボールコウイ）

⑤申請者 振込通知書をFAX→JVA事務局

（JVA指導者養成委員会HPに掲載：pdf）

※③④⑤は同時に手続きすること。

⑥手続き完了後(③④⑤)、指導者養成委員会担当で審査→申請者に再認定確認書類を送付
再認定不可の場合、別途、指導者養成委員会担当と相談の上、対応を決定する。

（公益財団法人日本体育協会への資格申請）

⑦申請者→交付された再認定確認書類・有効期限が切れた専門科目修了証・共通科目修了証の3点で都道府県体育協会に当該資格の申請を行う。

ご担当者へのお願い：

当該資格講習会で、有効期限に関する情報の周知徹底をお願いいたします。

STINGO 配信事業

担当：橋爪・土岡

Sports Technical Intelligence Network Global Organization

Intelligence for the top and development

～世界へつながる情報を未来の全日本へ～

スポーツ (Sports) の技術的 (Technical)、国際的な (Global) 情報、知識 (Intelligence) を発信する ネットワーク (Network) 組織 (Organization)

現在、日本バレーボール協会科学研究委員会調査部（情報戦略班）では、全日本の強化を目的に、STINGO Project を通じて、バレーボール協会関係者に国内の情報だけでなく、世界の各種スポーツに関する情報を配信しております。

日本バレーボール協会科学研究委員会と指導普及委員会では、これらの情報を全国の指導者に配信し、日頃の指導・普及活動に活用していただくことができないかを議論して参りました。

2014 年度、科学研究委員会関係各位のご協力をいただき、JVAMRS を通じて指導普及委員会に登録している、

1. 日本バレーボール協会公認講師
2. 日本体育協会コーチ
3. 日本体育協会上級コーチ に配信を開始し、2015 年 2 月には、
4. 加盟団体指導普及委員長
5. JVA 指導普及委員会 委員・部員 に

これらの情報を配信する準備が整いましたのでご連絡させていただきます。

(配信までの流れ)

1. JVAMRS 各カテゴリーに登録（2014 年度、すでにご登録いただいている指導者の皆様は新たに登録する必要はありません）
2. 配信希望者は、<http://goo.gl/kjC600> にアクセスする。
(/以下 「ケイ (小文字)、ジェイ (小文字)、シー (大文字)、ロク (半角数字)、ゼロ (半角数字)、オー (大文字)」)
3. メールアドレス・氏名・所属等の必要事項を入力。
最後に確認事項にチェックを入れ、送信する。
4. STINGO 配信が開始される。
(入力内容を確認後、不備等ある場合は、配信を停止することがあります。)

申請フォーム内確認事項に記載しておりますが、これは情報を与えるためのプロジェクトという認識ではなく、情報を共有するためにみんなで作っていきプロジェクトであることから、受信者は、定期的に事業改善のためのアンケートなどに答えることが必要です。該当者へのご紹介及び皆様のご登録をお待ちしております。

JVA競技者拡大プログラム

～みんなでバレーボールをやってみよう～

平成30年度「Vリーグ選手と一緒にバレーボール教室」開催要項（案）

1. 目的
① トップ選手とのふれあいを通して、バレーボールに興味・関心を持たせバレーボールに取り組むきっかけをつくる。
② Vリーグ選手のプレイをみたり、一緒に活動することによりVリーグのチームや試合に関心を持ち、進んで試合観戦やテレビ視聴をし応援しようとする態度を育てる。
③ 経験者に対しての技術指導の場ではなく、未経験者に対してバレーボールの楽しさを伝える場とする。
④ 男子児童（チーム）の積極的参加を促し、男子選手増加と普及対策に努める。
⑤ 親子が一緒に参加し、子育て講演会やソフトバレーボール交流試合を併行して開催し小学生バレーボールへの理解を深める。
2. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会 日本小学生バレーボール連盟
3. 主管 公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会
日本小学生バレーボール連盟指導普及委員会
日本小学生バレーボール連盟JVA特命委員会
開催県バレーボール協会・開催県小学生バレーボール連盟
4. 協力 Vリーグ機構
5. 開催期間 平成30年6月～平成30年9月上旬（Vリーグのオフの期間）
6. 開催地 全国10会場
7. 日程
9：30～10：00 受付・開講式（V選手紹介）
10：00～12：00
（児童）
○実技～バレーボールを使っての体ほぐし運動
○実技～バレーボールにチャレンジ（基礎・基本技術）
○実技～Vリーグ選手の模範プレイ
（保護者）
○講演～「スポーツと子育て」
12：00 昼食・休憩
13：00～14：30
（児童・保護者）実技～親と子のソフトバレーボール交流
14：30～ 閉講式（V選手の質問コーナー）
*サイン会・写真撮影

8. 参加者

- バレーボールの初心者と未経験者で個人又はグループによる参加とする。
- 既にバレーボールを行っている児童が未経験の子を誘ってくる形でもよい。
- 経験者のみになることのないように留意する。
- 1会場100名程度を参加させるようにし、男子の参加者が半数を占めるように努める。

9. 講師

- Vリーグチームより1会場に複数の選手を派遣するよう協力を得る。
- 実技指導者として小学生バレーボール指導経験者を委嘱する。
- 保護者講師として小学生教育関係者等を委嘱する。
- アシスタントコーチとして、開催地バレーボール協会役員を各会場5名程度委嘱する。

10. その他

- 可能な限り親と子が一緒に参加するようにする。
- 開催地には、一定額の運営費を主催者が補助する。
- 講師（Vリーグ選手、実技講師、保護者講師）の旅費、謝礼等は主催者が負担する。
- 会場設営は、バレーボールコート1面、ソフトバレーボールコート4～6面以上を用意する。
- 保護者講演会場として50～80名程度着席できる部屋を用意する。
- 使用ボールは主催者が用意する。
- 参加した未経験者については、その後バレーボールを継続したかどうか等の追跡調査を行うこと

11. 開催申請

- 開催地は事前(4月中)に開催計画書及び予算書を提出する。
- 都道府県協会、都道府県小連と担当者が連絡の上、開催希望を尊重し、且つVリーグ機構の要望も取り入れて最終決定する。
- 開催地決定後、「開催マニュアル」を送付する。それをもとに準備・運営を進める。
- 開催地は教室終了後、すみやかに報告書を提出する。
- 事業担当者
公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会

オフィシャルボール 株式会社ミカサ 株式会社モルテン

※計画書等の様式は日本小学生バレーボール連盟ホームページに掲載

JVA 競技者拡大プログラム

平成30年度全国小中学生一貫バレーボール教室実施要項(案)

1. 目的 小中合同のバレーボール教室を開催し、一貫指導の充実とバレーボール人口の増加を図る。
2. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会
日本小学生バレーボール連盟
3. 主管 公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会
開催県バレーボール協会・開催市区町村バレーボール協会
開催県小学生バレーボール連盟
4. 後援 開催都道府県・区市町村教育委員会 報道機関 等々
5. 開催期日 平成30年6月～31年1月末までの1日もしくは2日
6. 開催地 全国3～5会場で実施
7. 事業内容
 - 地域の小中学生が一緒に行うバレーボール教室に対してJVAが講師派遣・補助金等の支援を行う。
 - 支援内容については、話し合いによって決定していく。
 - 開催地は、参加者は小学生5チーム、中学生5チーム以上を目標にする。
8. 支援申し込み
 - 開催要項(案)を添付し、別紙の計画書に必要事項を記入し、予算書とともに担当まで申し込むこと
9. その他 終了後は、実施報告書、決算報告書(領収書添付)を2週間以内に提出すること。

オフィシャルボール 株式会社ミカサ 株式会社モルテン

※計画書等の様式は日本小学生バレーボール連盟ホームページに掲載

JVA競技者拡大プログラム

平成30年度幼稚園・保育園ソフトバレーボール実施支援事業開催要項（案）

1. 目的
○幼児期からソフトバレーボールに親しむ機会をつくる。
○実践の支援を行う。
○実施園から、感想・意見を聴取し、今後のソフトバレーボール発展の参考にする。
2. 主催
公益財団法人日本バレーボール協会
日本小学生バレーボール連盟
3. 主管
公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会
都道府県バレーボール協会 都道府県小学生バレーボール連盟
4. 協力
株式会社ミカサ 株式会社モルテン
5. 開催期間
平成30年4月～平成31年2月末日
6. 開催地
全国9ブロックで1園実施
7. 実施方法
○小学生バレーボール連盟ブロック理事に依頼し、各ブロックで1つの園生活の中で、ソフトバレーボールを取り入れてもらう。
○開催計画書を提出し、支援を受ける。また、終了後は報告書を提出する。
○ブロック理事又は開催県小連理事長は機会を設け、様子を参観する。
○依頼した幼稚園・保育園には実施後、所定の用紙に感想や意見等を記入し提出してもらう。
○感想・意見集は、まとめて今後の参考資料とする。
8. 申込方法
所定の用紙に必要な事項を記入し 月 日までに申し込むこと
9. 申込先
公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会本事業担当者
10. その他
①開催地は、実施マニュアルに基づき、実施運営を行う。
②1授業に対しボール20個を目途に寄贈する。重さ等の要望があれば事前に受付けることとする。
③開催地には運営費を補助する。終了後は、実施報告書兼決算報告書（領収書添付）を2週間以内に提出すること。

※計画書等の様式は日本小学生バレーボール連盟ホームページに掲載予定

JVA競技者拡大プログラム

平成30年度

アンダー10キッズ交流バレーボール大会支援事業実施要項(案)

1. 目的 低学年主体のバレーボール大会を実施し、バレーボールへの関心・意欲を高め競技者拡大を図るとともに小学生バレーボールの普及と発展に努める。
2. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会
日本小学生バレーボール連盟
3. 主管 公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会
日本小学生バレーボール連盟指導普及委員会
日本小学生バレーボール連盟JVA特命委員会
都道府県バレーボール協会 都道府県小学生バレーボール連盟
4. 協力 株式会社ミカサ 株式会社モルテン
5. 開催期間 平成30年5月～平成31年2月末日
6. 開催地 平成30年度開催予定都府県（意向調査回答による）

青森県	宮城県	福島県	埼玉県	東京都	山梨県
石川県	福井県	静岡県	滋賀県	大阪府	鳥取県
岡山県	香川県	高知県	福岡県	長崎県	
7. 参加者 チーム参加を原則とし、参加者はMRS登録を済ませていることが望ましい。MRS未登録未登録のものについては、登録を積極的によびかけるものとする。
8. 競技方法 普及を目的にした大会趣旨に鑑み、ローカルルール（※この大会のためのキッズルール）を適用し、競技者拡大のための運営を行う。
※ネット・ボール・コート・チーム編成など、開催地の実態に合わせた低学年普及のための特別ルール
9. 申込先 公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会本事業担当者
10. その他 ○開催地は、事前（4月中）に開催計画書・予算書を提出し、実施マニュアルに基づき、支援（賞状・補助金）を受ける。また、終了後は実施報告書兼決算報告書（領収書添付）を提出すること。
○開催地は、競技方法が記載された大会要項を、事前に提出のこと。

※計画書等の様式は日本小学生バレーボール連盟ホームページに掲載

JVA競技者拡大プログラム

平成30年度 中学生ビギナーバレーボール大会実施要項（案）

1. 目的 中学校入学後にバレーボールを始めた生徒を対象にした交流大会を開催することで、新しい目標もたせ初心者でも意欲的にバレーボールに取り組むきっかけとする。
2. 主催 公益財団法人日本バレーボール協会
3. 主管 公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会
都道府県バレーボール協会
4. 協力 公益財団法人日本中体連バレーボール競技部
5. 開催地 全国10会場（ブロック1+1）
6. 参加者 原則として中学校入学後にバレーボールを始めた生徒を対象とする。
チーム参加を原則とし、MRS登録を済ませていることが望ましい。
7. 開催申請等 所定の開催計画書及び予算書を5月末日までに提出すること。
終了後、2週間以内に実施報告書及び会計報告書を提出すること。
8. その他 開催地には一定額の運営費を主催者が補助する。
開催地の実情に合わせて、バレーボール教室と抱き合わせて開催してよい。

[連絡先]

公益財団法人日本中体連競技部 強化委員長

公益財団法人日本バレーボール協会競技者拡大委員会副委員長

竹村 昭浩

勤務先 長野県長野市立更北中学校

TEL026-284-2019 FAX026-284-2159

携帯 080-2059-8700

オフィシャルボール 株式会社ミカサ 株式会社モルテン

平成30年度 中学生ビギナーバレーボール交流大会 開催計画書

開催都道府県名 ()バレーボール協会

会長 印

開催地責任者 印

1	開催日	
2	会場名	
	所在地	
	会場電話番号	
3	開催地責任者 役職・氏名	
	住所	
	携帯電話	
	eメール	
	電話・FAX°	
	勤務先名・電話	
4	参加予定チーム数	男子()チーム 女子()チーム

補助金振込先(フリガナを必ず記入)

銀行名・支店名	銀行	支店
口座番号	(普通・当座)	
口座名義		
フリガナ		
名義人住所		
名義人電話番号		

平成30年度 中学生ビギナーバレーボール交流大会 実施報告書

開催都道府県名 ()バレーボール協会

会長 印

開催地責任者 印

1	開催日	
2	会場名	
	所在地	
	会場電話番号	
3	開催地責任者 役職・氏名	
	住所	
	携帯電話	
	eメール	
	電話・FAX°	
	勤務先名・電話	
4	参加チーム数	男子()チーム 女子()チーム
5	参加選手数	男子()名 女子()名

平成30年度 中学生ビギナーバレーボール交流大会 会計決算書

項目	金額	摘要
会議費		
旅費・交通費		
消耗品費		
印刷製本費		
諸謝金		
雑費		
合計		

領収書を添付し開催日より2週間以内に提出のこと。